



「マイギリ」「弓」と呼ばれる道具を使った火おこしに挑戦



朝はみんなで真庭版ラジオ体操



ツナ缶ランプのツナは朝ごはんに

クリエイト菅谷で7月16日からの2日間、ファミリー防災キャンプが開かれ、市内の小学生23人と保護者7人が参加しました。参加者は、ツナ缶の油を利用したランプを作ったり、木と木をこすり合せて火をおこす体験をしたり、防災マップで自宅の周辺を確認するなどの学習をしました。また、子どもたちはテレビやビデオゲームのない環境でトランプや散策、鬼ごっこなどをして友達と楽しく遊び、お菓子を分け合ったり、協力してテントの設営するなど、生活を共にすることを学び、仲良くなっていました。2日間の日程を終えると、修了証を手に「また会おうね」と声をかけ合っていました。

星空観察会
プラネタリウムで星空を

7月7日、「高仙の里よの」で星空観察会が開かれました。あいにくの曇り空となったこの日、参加者は最初に環境課職員から、すぐにでもできる環境への取り組みについての話を聞いた後、赤磐市の天文台でボランティアガイドをしている脇本真行さんから、光害対策や七夕の物語の由来などについて話を聞きむことができた。「ペーパープラネタリウム」作りに挑戦しました。



室内で星座を楽しめるプラネタリウムを作ったよ



漆を塗る体験で地域の伝統工芸に触れました

郷原漆器体験
漆塗り世界に一つの作品

7月3日、中和小学校の5、6年生の児童15人が、地域の伝統的工芸品「郷原漆器」について学びました。この日は郷原漆器生産振興会の高月国光さんと総社市在住の漆芸家、塩津容子さんが講師を務めました。児童たちは、郷原漆器の歴史や木製の漆器とプラスチック製の器との熱の伝わり方の違いなどを学んだ後、箸やスプーンに赤や黄などの色を混ぜた色漆を塗る体験をし、漆器の魅力に触れました。



市政に関する動きの一部を紹介します

6/28 勝山高校で選挙出前講座を実施

勝山高校で初めて3年生の生徒139人を対象とした、市選挙管理委員会による出前講座が開かれました。選挙の仕組みや選挙運動、若い世代が投票に行くことの大切さについて、クイズなどを交えながら学習しました。



7/12 バイオマス女子が市長と意見交換

市長と市民が直接対話する「市長と話そう！」が開かれ、バイオマスツアーの案内を務めるバイオマス女子と市長が意見交換。おもてなし向上など、女性目線による見直しの提案や後継者育成など、課題共有が行われました。



市長室から こんにちは!

真の友人とは

最近の政治に関わる出来事から、政治の端くれにいる私も、「真の友人」とは何かと考えさせられることが多い。

これに関連して、少し昔の京都時代のことを思い出した。今上天皇が京都に行幸され、お泊りになると、宿泊所の大宮御所で学者などいろんな方とプライベートに懇談されることが多い。ある時のご入浴の前に、私が存じ上げている学習院時代の「ご学友」から、「自分たちは陛下がご入浴されたらゆっくりしていただくことが一番で、拝謁などを差し控えるが、A(特定者)だけは要請すると思う。それを断って欲しい」との要望があった。案の定、A氏からそんな話 came。私は、取り次ぐ権限がない旨申し上げ、当然ながらお断りしたが、その当時、「真の友人」とは何かを考えさせられた。

人間は弱いもので、虚栄心が起こりがちで、有名人との近さを吹聴したがる傾向にあるが、「真の友人」になろうと思えば、むしろ相手の立場を考え、迷惑を掛けない配慮をすることであろう。私もこのことを肝に銘じて豊かな人間関係を築いていきたいと考えるこの頃である。



市内外から約400人の参加で盛大に開催

民生委員制度創設100周年記念真庭大会 地域福祉の更なる発展へ

民生委員の前身とされる済世顧問制度の創設から今年で100年を迎えたことを記念して、7月15日に真庭市民生委員児童委員協議会による記念大会が開かれました。真庭市では現在169人の民生委員・児童委員が高齢者や障がい者、子育て世帯の訪問や見守りをはじめながら市民の身近な相談役として、また市民と行政をつなぐパイプ役として活動しています。この日は地域福祉の更なる発展に向け、出席者らが決意を新たにしました。



旭川の生き物を捕まえる参加者

旭川かいぼり調査・勝山 川の生き物から環境を考える

7月16日、勝山文化センター近くの旭川で、川の流れをせき止めて生き物を調べる旭川かいぼり調査が行われました。この調査は川の状況を明らかにして環境保全に繋げていくことが目的。市内や岡山・倉敷市などから約150人が参加し、川に入って生き物を捕まえました。この日捕まえたのは水生昆虫が38種類、魚が22種類などで、絶滅危惧種のオヤニラミヤスナヤツメ南方型といった希少な生き物も見つかりました。